益田未来協働フェスタ２０２２
科学チャレンジ『バッチリ当てよう』詳細について

当日の流れ

１．当日の受付に作品を持ってきて下さい。４０ｃｍの立方体に入る大きさであることを計測します。
２．受付時に、写真を撮らせていただきます。受付を済ませた後に 作品を改良することはできません。
３．受付横に、作品を修正する場所を設けます。運ぶ途中に壊れた作品を修正する時に使って下さい。
　はさみ･セロテープは準備します。その他カッターナイフ･接着剤等は各チームでご準備願います。
４．科学チャレンジが始まるまで、各チームで作品を管理して下さい。（受付では預かりません。）
５．科学チャレンジが始まったら、アナウンスにしたがって、作品を持ってステージに上がって下さい。
６．作品の工夫点や見所をインタビューでお聞きします。
　インタビューに答える人や競技に参加する人を決めておくと当日スムースに進行できます。
７．競技は２回の合計得点で競います。
　１回目の競技後から２回目の競技までの**準備時間は最大３０秒**と設定します。

科学チャレンジ　Ｑ＆Ａ

Ｑ１　ステージに上がれる人数は何人までか？

Ａ１　３人まででお願いします。もちろん１人でも構いません。
事前にインタビューなども受けることを想定して各チームで決めてください。

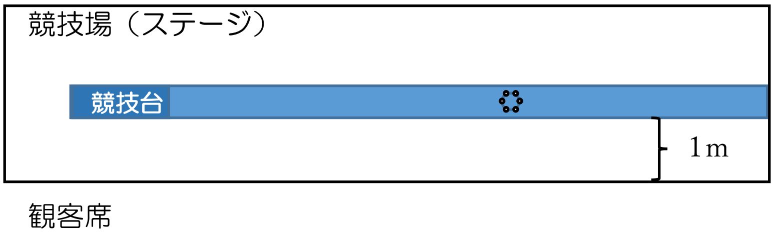
Ｑ２　サイズ確認用の箱の中には作品を折り曲げて（折り畳んで）入れてもいいか？

Ａ２　作品は計測時と競技する（手を放す時点）までが同じ形であることが前提になります。
つまり、手で押さえておかなければ箱に入らない作品や
競技直前に箱に入らない形であるものは不可となります。
また、競技は２回連続して行うことも想定して作品を作ってください。

Ｑ３　競技台やシートと観客席との距離は？

Ａ３　次の図１の通り、シートとステージ端までの距離は 1m の間隔を保ちシートを敷きます。

（図１）



Ｑ４　ペットボトルに当たってから作品がフロアーに落ちた場合は？

Ａ４　ペットボトルに当たっても当たらなくても、作品がステージ（競技場）から落ちた場合は
その試技は０点扱いとします。もちろん、１回目０点でもペットボトルは復元した状態にして、
２回目の競技は可能です。

Ｑ５　どんな種類のペットボトルを配置するのか？

Ａ５　それぞれ写真や配置（図２）も参考にしてください。

500ml，1000ml，1500ml はいずれも市販されている炭酸用の円筒型ペットボトルを用います。

2000ml は清涼飲料水やお茶用の底面正方形の直方体型ペットボトルを配置します。

なお、ペットボトルの蓋はつけません。

メーカーや商品名についてはお知らせできません。

（図２）ペットボトルの配置（真上からの視点）

Ｑ６　昨年度の最高スコアは？

Ａ６　２投目でスペアとなる８０００点が最高スコアでした。昨年度はストライクが出なかったので、今年度はアイデア溢れる作品で、ストライクやダブルが出ることを期待しています。

競技場の様子

※ 2021 年度科学チャレンジ「バッチリ当てよう」の会場の様子です。　2022 年度も同じ競技台を使います。

今年度は会場が益田市民体育館になりますので、特設の競技ステージを設置して行います。

滑り台でいう、座って足を伸ばす平らな部分はありません。

本番は点線の辺りに手を放す目印のテープを貼ります。

分かりにくいかもしれませんが、昨年は手を放す目印として競技台に赤テープを貼りました。